

## 【安全な水を飲むために】

翔凜中学校 三年 加藤 香美

私に通っている翔凜中学校は今年の修学旅行では台湾に行く予定となっています。そのため、担任の先生など色々な先生が台湾のことを教えてくださいます。その中でも一番よく聞くのが料理が美味しいということですが、それ以外に聞くのが水道水のことです。水道水を飲料水として飲むと高確率でお腹を壊すと聞きました。それを知った私はびっくりしました。私は逆に家で水道水しか飲まないのに修学旅行に行ったらどうすれば良いのだろうかと思ったりと途方に暮れました。それで気になって調べてみた所、水道水をそのまま飲むことができる国は日本の他に十か国ほどしかないそうです。世界には百九十六か国もの国があるのにも関わらずその約二十パーセントの国しか気楽に水道水を飲むことができないのです。私はそのあまりにも少ない数字に衝撃を受けました。今私達の中で当たり前になっていることが他の人にとって当たり前ではなかったのです。そもそも水道設備の整備が完全になっていない国が多いのです。その国の人はその水で慣れているから大丈夫という言葉も見かけましたが、私は慣れの問題ではないと思います。安全ではない水に慣れさせてはいけないと思います。どうしたら水道設備が整い、より綺麗な水を沢山の人が飲むことができるのでしょうか。その国の課題ではなく、世界の課題です。私たちにもできることは必ずあるでしょう。

まず誰でも気軽にできるのが募金です。よく聞くユニセフなども水問題のための募金活動をしています。一人一人の寄付の金額が小さくても沢山の人が寄付をすれば大きな金額になります。一回で募金する金額は団体にもよりますが、百円からでも良いのです。自分の百円で少しでも多くの人が助かればとても嬉しいことでしょう。私の父はユニセフのマンスリーサポートに申し込んでいました。私もいずれそのような活動に協力できたらなと思います。

次に地球温暖化を極限まで防ぐことです。地球温暖化が進むことにより水質が悪くなるのが懸念されているようです。他にも地表や海面からの蒸散量が増えるとも言われています。地球温暖化は水だけでなく地球の全てに関わることです。募金のように誰でも防ぐためにできることがあります。調べたら沢山出てきます。その多くは私たちが生活を工夫することによってできるものです。例えば、ポイ捨てされたゴミを拾うことにより地球温暖化にも関わってくる山や海などの環境破壊も完全には難しいかもしれませんが防ぐことができます。出かけている途中に沢山拾うというのは無理があると思います。でも家の周りなどに落ちている物なら拾えると思います。まずは身の周りの問題を解決していくのが良いと思います。

このように地球上の問題は私たちにもできる簡単なことから対策ができます。世界のそれぞれの人が協力していくことにより良い環境で生活できる人が増えていくのではないのでしょうか。